

プログラム名	<b>プラスチック板工作</b>		時間	1～3時間
ねらい	1 豊かな創造性を培うとともに、手作りの喜びを味わう。 2 用具の安全な使用方法を体得する。			
活動内容	1 活動形態 → 個人あるいはグループ（4～6名程度） 2 内容 → プラスチック板に、イラストや自分が思い描くかたちのものを書き、それを焼くことによって作品を制作する活動。			
対象	制限なし	活動可能人数	何人でも可	
展開例	<p><b>1 集合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食堂売店に申し込みと事務室への連絡</li> <li>・指定された場所と時間に集合（入所時に確認）</li> <li>・グループの場合は、グループごとに集合</li> <li>・参加人員と健康状態の把握</li> </ul> <p><b>2 事前指導</b>（「玄海の家」指導員・約10分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動道具の準備、配布</li> <li>・説明および諸注意（実施方法、安全、マナー等）</li> </ul> <p><b>3 活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチック板に油性マジックペンで絵を書く。</li> <li>・プラスチック板を好きな形に切る。</li> <li>・ホルダー用の穴をパンチであける。</li> <li>・オーブントースターで平らになるまで加熱する。（約1/4の大きさ、4倍の厚さ）</li> <li>・ガラス板で熱いうちに軽く押さえる。</li> <li>・ホルダーをパンチで取り付ける。</li> </ul> <p><b>4 事後指導</b>（各団体）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道具の後片付け、ゴミの処理</li> <li>・人員確認および借用物の確認と事務室、食堂売店への返却</li> <li>・評価と反省</li> </ul>			
実施上の留意点	<p>1 研修室の使用などがあるので、利用前に十分事前打ち合わせをする。</p> <p>2 制作の進度に差が出るため、時間設定に余裕をもたせる。</p> <p>3 作り方、用具の使用方法、片付けなど事前指導を「玄海の家」職員が実施する。</p> <p>4 用具の貸し出し、返却は職員の点検を受けて確実にを行う。</p> <p>5 物品の購入および支払いは、すべて食堂売店で行う。</p> <p>6 刃物、火気を使用する場合は、ケガや火傷がないように十分注意する。</p> <p>7 細かい作業は、必要に応じて指導者が行う。</p> <p>8 オーブントースターは各部屋で1つのみ使用する、2つ以上使用するとブレーカーが落ちるため。</p>			
引率者の役割	オーブントースター取り扱い、用具の管理			
「玄海の家」で準備できる物	オーブントースター（7）、パンチ、ペンチ、はさみ、ガラス板、軍手			
利用団体で準備する物	下絵、新聞紙			
食堂で購入するもの	プラ板セット「プラスチック板、油性マジック、ホルダー、クッキングシートもしくはアルミホイル」（120円/人）※団体持参でも可			